

聖書が語る世の終わりとは？ R01. 5. 31

<目次>

- 1 聖書のことばは信頼できることば（預言は成就する）
- 2 世の終わりは万物の終わりのとき、人も動物も終焉を迎える
- 3 何故神は世の終わりを来させるのか？ロト、ノアの例
- 4 我々は神に創られたものである（それなのに神を認めず反抗をする）
- 5 イエスの十字架とエルサレム崩壊は世の終わりの型
- 6 神は長い間忍耐をされていた
- 7 太陽も地球も焼けとけ、悔い改めない人々は滅びる
- 8 終末の日のシナリオ、できごとは聖書に預言されている
- 9 終末の日に獣の国が起き、世界支配の帝国となる
- 10 獣の国アメリカは武力で全世界を支配する
- 11 世界の宗教も政治もアメリカのいいなりになる
- 12 教会からキリストは追放され、反キリスト（サタンの申し子）が礼拝される
- 13 キリストを信じる人々は地下教会に入る、3年半の艱難がある
- 14 キリストの再臨があり、正しいものは報われ、裏切るものは復讐される
- 15 万物の終わりが来て、万物が滅び、正しいものは天の国に入る
- 16 終末の一連のできごとは、一世代、40年の間にすべて完了する
- 17 偽りの教えに気をつける

<詳細>

- 1 聖書のことばは信頼できることば（預言は成就する）

聖書には未来に関する数千の預言があるが、それらはみなことごとく成就してきた。成就率100%である。その聖書が未来や終末のことを予言しているので、我々は耳を傾けるべきである。

キリストの聖誕の場所：

ミカ 5:2

ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

エルサレムの崩壊：

ルカ 23:27

大ぜいの民衆やイエスのことを嘆き悲しむ女たちの群れが、イエスのあとについて行った。

23:28 しかしイエスは、女たちのほうに向いて、こう言われた。「エルサレムの娘たち。わたしのことで泣いてはいけない。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのことのために泣きなさい。

23:29 なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は、幸いだ。』と言う日が来るのですから。

23:30 そのとき、人々は山に向かって、『われわれの上に倒れかかってくれ。』と言い、丘に向かって、『われわれをおおってくれ。』と言い始めます。

2 世の終わりは万物の終わりのとき、人も動物も終焉を迎える

1 ペテロ 4：7

万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。

3 何故神は世の終わりを来させるのか？

ロマ 1:18

というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。

1:19

なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。

1:20

神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

1:21

というのは、彼らは、神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからです。

2 ペテロ 2:5

また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。

2:6

また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

2:7

また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。

2:8

というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行ないを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。

2:9

これらのことわかるように、主は、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。

4 我々は神に創られたものである（それなのに神を認めず反抗をする）

ヨハネ 1:10

この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。

1:11

この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。

1:12

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

ロマ 1:28

また、彼らが神を知ろうとしがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。

1:29

彼らは、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪たくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、

1:30

そしる者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、

1:31

わきまのない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。

1:32

彼らは、そのようなことを行なえば、死罪に当たるという神の定めを知っていながら、それを行なっているだけでなく、それを行なう者に心から同意しているのです。

5 イエスの十字架とエルサレム崩壊は世の終わりの型

マタイ 27:22

ピラトは彼らに言った。「では、キリストと言われているイエスを私はどのようにしようか。」彼らはいっせいに言った。「十字架につけろ。」

27:23

だが、ピラトは言った。「あの人がどんな悪い事をしたというのか。」しかし、彼らはますます激しく「十字架につけろ。」と叫び続けた。

27:24

そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなを見て、群衆の目の前で水を取り寄せ、手を洗って、言った。「この人の血について、私には責任がない。自分たちで始末するがよい。」

27:25

すると、民衆はみな答えて言った。「その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」

マタイ 24:1

イエスが宮を出て行かれるとき、弟子たちが近寄って来て、イエスに宮の建物をさし示した。

24:2

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「このすべての物に目をみはっているのでしょう。まことに、あなたがたに告げます。ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」

24:3

イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」

6 神は長い間忍耐をされていた

2ペテロ 3:9

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

3:10

しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

3:11

このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょう。

3:12

そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

3:13

しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

7 太陽も地球も焼けとけ、悔い改めない人々は滅びる

2ペテロ 2:5

また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。

2:6

また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

2:7

また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。

2:8

というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行ないを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。

2:9

これらのことでわかるように、主は、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。

2 ペテロ 3:6

当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。

3:7

しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。

8 終末の日のシナリオ、できごとは聖書に預言されている

2 ペテロ 1:19

また、私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。夜明けとなって、明けの明星があなたがたの心の中に上るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

9 終末の日に獣の国が起き、世界支配の帝国となる

黙示録 13:1

また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。

13:2

私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口はししの口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。

13:3

その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

13:4

そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。」と言った。

13:5

この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。

13:6

そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちをののしった。

13:7

彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

10 獣の国アメリカは武力で全世界を支配する

ダニエル 2:40

第四の国は鉄のように強い国です。鉄はすべてのものを打ち砕いて粉々にするからです。その国は鉄が打ち砕くように、先の国々を粉々に打ち砕いてしまいます。

2:41

あなたがご覧になった足と足の指は、その一部が陶器師の粘土、一部が鉄でしたが、それは分裂した国のことです。その国には鉄の強さがあるでしょうが、あなたがご覧になったように、その鉄はどろどろの粘土と混じり合っているのです。

2:42

その足の指が一部は鉄、一部は粘土であったように、その国は一部は強く、一部はもろいでしょう。

2:43

鉄とどろどろの粘土が混じり合っているのをあなたがご覧になったように、それらは人間の種によって、互いに混じり合うでしょう。しかし鉄が粘土と混じり合わないように、それらが互いに団結することはありません。

2:44

この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。

ダニエル 7:19

それから私は、第四の獣について確かめたいと思った。それは、ほかのすべての獣と異なっていて、非常に恐ろしく、きばは鉄、爪は青銅であって、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。

7:20

その頭には十本の角があり、もう一本の角が出て来て、そのために三本の角が倒れた。その角には目があり、大きなことを語る口があった。その角はほかの角よりも大きく見えた。

7:21

私が見ていると、その角は、聖徒たちに戦いをいどんで、彼らに打ち勝った。

7:22

しかし、それは年を経た方が来られるまでのことであって、いと高き方の聖徒たちのために、さばきが行なわれ、聖徒たちが国を受け継ぐ時が来た。

7:23

彼はこう言った。『第四の獣は地に起こる第四の国。これは、ほかのすべての国と異なり、全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。』

7:24

十本の角は、この国から立つ十人の王。彼らのあとに、もうひとりの王が立つ。彼は先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す。

7:25

彼は、いと高き方に逆らうことばを吐き、いと高き方の聖徒たちを滅ぼし尽くそうとする。彼は時と法則を変えようとし、聖徒たちは、ひと時とふた時と半時の間、彼の手にゆだねられる。

7:26

しかし、さばきが行なわれ、彼の主権は奪われて、彼は永久に絶やされ、滅ぼされる。

7:27

国と、主権と、天下の国々の権威とは、いと高き方の聖徒である民に与えられる。その御国は永遠の国。すべての主権は彼らに仕え、服従する。』

ダニエル 8:23

彼らの治世の終わりに、彼らのそむきが窮まるとき、横柄で狡猾なひとりの王が立つ。

8:24

彼の力は強くなるが、彼自身の力によるのではない。彼は、あきれ果てるような破壊を行ない、事をなして成功し、有力者たちと聖徒の民を滅ぼす。

8:25

彼は悪巧みによって欺きをその手で成功させ、心は高ぶり、不意に多くの人を滅ぼし、君の君に向かって立ち上がる。しかし、人手によらずに、彼は砕かれる。

1 1 世界の宗教も政治もアメリカのいいなりになる

黙示録 13:7

彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

1 2 教会からキリストは追放され、反キリスト（サタンの申し子）が礼

拝される

黙示録 13:14

また、あの獣の前で行なうことを許されたしるしをもって地上に住む人々を惑わし、剣の傷を受けながらもなお生き返ったあの獣の像を造るように、地上に住む人々に命じた。

13:15

それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がもの言うことさえもできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。

13:16

また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。

13:17

また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。

13:18

ここに知恵がある。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は六百六十六である。

13 キリストを信じる人々は地下教会に入る、3年半の艱難時代がある、
キリストのゆえ憎まれる

マタイ 24:9

そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

黙示録 12:13

自分が地上に投げ落とされたのを知った竜は、男の子を産んだ女を追いかけた。

12:14

しかし、女は大わしの翼を二つ与えられた。自分の場所である荒野に飛んで行って、そこで一時と二時と半時の間、蛇の前をのがれて養われるためであった。

12:15

ところが、蛇はその口から水を川のように女のうしろへ吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。

12:16

しかし、地は女を助け、その口を開いて、竜が口から吐き出した川を飲み干した。

14 キリストの再臨があり、正しいものは報われ、裏切るものは復讐される

2テサロニケ 1:5

このことは、あなたがたを神の国にふさわしい者とするため、神の正しいさばきを示すしるしであって、あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。

1:6

つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして痛みを与え、

1:7

苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるときに起こります。

1:8

そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。

1:9

そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。

1:10

その日に、主イエスは来られて、ご自分の聖徒たちによって栄光を受け、信じたすべての者の——そうです。あなたがたに対する私たちの証言は、信じられたのです。——感嘆の的となられます。

15 万物の終わりが来て、万物が滅び、正しいものは天の国に入る

イザヤ 30:2

「人の子よ。預言して言え。神である主はこう仰せられる。泣きわめけ。ああ、その日よ。

30:3

その日は近い。主の日は近い。その日は曇った日、諸国の民の終わりの時だ。

16 終末の一連のできごとは、一世代、40年の間にすべて完了する

終末に関して預言されているすべてのできごと、すなわち、宮の崩壊、反キリスト登場、獣の国の世界支配、艱難時代、ハルマゲドン、ゴグマゴグ、バビロンの崩壊、そして再臨、主の日、これらすべては1世代、40年の間に完了する

ダニエル 2:44

この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。

マタイ 24:34

まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代（世代＝40年）は過ぎ去りません。

17 偽りの教えに気をつける

マタイ 24:11

また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。

偽りの教え：

- 1) 終末の日に教会やクリスチャンが裁かれることはないとの教え
- 2) 神は愛だから裁きも地獄もないとの教え
- 3) クリスチャンが何をしても決して救いからもれることはないとの教え
- 4) キリストが再臨後、地上で王国を持つとの教え：万物が滅び、天地も焼けとけるのにどうやって地上で王国など持てるのか？
- 5) 艱難時代に艱難に会うのはユダヤ人であり、教会は携挙されるとの教え：黙示録には終末の災いが背教の教会に到来し、正しいクリスチャンは苦難にあうことが明確に語られている；それが読めないのは悟りのない愚かな盲人であるから。